

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月11日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北名古屋市	代表者名	長瀬 保		
担当者部署	総務部企画情報課	連絡先電話番号	0568-22-1111		
担当者役職	主査	担当者氏名	山本 治樹	連絡先E-mail	
住所	481-8531 愛知県北名古屋市西之保清水田15番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大高 利夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	デジタル化を推進するための深い知識と実績をお持ちであり、公務員の経験も活かして幹部職員向けに分かりやすいセミナーを実施していただいた。
アドバイザーへの要望事項	2日目は一般職員向けのセミナーをお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月5日	10時10分	12時10分		120
3-2. 派遣場所	会場名	北名古屋市役所西庁舎 2階 災害対策本部室		最寄駅	西春駅
	所在地	愛知県北名古屋市西之保清水田15番地		最寄駅からの交通手段	公用車による送迎
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 副市長、教育長、統括参事、部長等	人数 18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 今後の自治体DXに関して、本市がどのように推進していくか、また、他の機関等に対してどう連携等していくか検討する必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員が自治体DXがどういったものかを理解し、共通認識を得たうえで、市としてどのように業務変革を進めていくか方針が示せるようになる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	幹部職員向け自治体DX推進セミナー(60分) 自治体DX推進主管課職員に対するアドバイス(60分)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXがどういったものか、その目的や本質について幹部職員の理解が深まり、全庁的に進めなければならぬという意識が強まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 自治体DXの推進について、幹部職員の共通認識を得ることができた。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	今回は幹部職員向けであったため、次回は一般職員向けに実施する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	北名古屋市のDX推進	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

